

■都城、高専制度60年で記念植樹

都城高専（和田清校長、806人）で17

日、高専制度創設60周年を祝う記念植樹があった。



今年2月に完成した学生寮の落成式の後、管理棟前に移動して実施し約20人が出席した。

和田校長は「高度成長の中では実践的人材が求められたが現在は創造性ある人材も期待されている。九州は半導体や人工知能（AI）の人材需要が高まっており今後も協力をお願いしたい」とあいさつ。3人ずつ、9人が交代でシャベルを持ち高さ約2メートルのハナミズキ1本を植えた。

制度は1962（昭和37）年に始まり同校は2年後に開校。現在全国には国公私立57校があり、モンゴルやタイ、ベトナムに制度を「輸出」している。植樹は全国の高専が「高専の森」と称し順次行っている。